

5月28日は、1、2年生同時の登校日。登校の混雑など確認のため登校風景を見守っていました。兵教大附属小中の児童生徒も一部登校していましたが、自転車通学、徒歩、バス通学含め大きな混雑はなかったようです。登校後はクラス人数によって30名を超えるクラスは2部屋に分かれ点呼、出欠確認・健康チェックを行いました。先日文部科学省から「学校の新しい生活様式」なるものが出され、健康チェックには同居家族の健康をチェックするように書かれてありましたので、来週以降朝のSHRでは、個人健康観察票を配布し、体温等を記入してチェックすることになりました。このことについてはご家庭でも朝の体温測定などしっかりと健康チェックをしていただく必要が出てきましたので、改めてご協力をお願い申し上げます。



さて、今回の登校日では1年生は、4月入学直後に予定されていたオリエンテーションを学年集会という形で実施しました。体育館一面に広がり、窓、扉を開放した中での実施です。緊張感のある中、生徒手帳を使用して生徒指導部長が説明をし、その後教務、進路指導等校内の守らねばならないことやシステム、進級にかかる単位認定などの話があり、神妙な面持ちで聞いていました。(寮生については5月31日に集合し、少しづつ時間をかけて説明していきます。) 2年生は、前回同様5月中旬に出されていた課題完成に向けた自主学習と面談を実施。渡り廊下を利用しての面談をするクラスもあり、先生方が生徒の臨時休業中の生活や今後の見通し等の把握に努めていました。私の方も、3年生の校長面談を開始。先週は体育科の通学生10名。今週は生活科学科の校長面談を始めました。生活科学科の3年生はイオンでの販売などこれから出番がたくさん来るときに活動休止を余儀なくされ、歯がゆい思いをしていると思っていたのですが、課題として岩津ねぎを素材にしたスイーツ開発に取り組んだ生徒もおり、それぞれが課題研究に向けた取組みを進めてくれていたようで安心しました。予断は許さない状況ではありますが、販売実習等早くできるようになって経験を積んでほしいと思っています。



授業再開に向けては随分と心配していましたが、生徒たちと話をすると予想以上に冷静に受け止めてくれていたようで、少しホッとしています。週末には寮生も集合し、寮生活も始まります。緊張を緩めることはできませんが、良い緊張感を保ちつつ通常の学校教育活動再開に向け進めていきたいと思えます。お知らせしたとおり6月1日から14日までの取組みについては、3年生の授業確保を優先し、空き教室を最大限利用して、1、2年生生活科学科と普通科を分散登校にして再開します。体育科は寮がある関係で全員毎日登校としました。ただし、クラスを半分に分けて授業展開を図るうえで、教員の配置や教室の関係で自習となる時間も出てきます。1、2年生は2週間で1週間分の授業をすることになります。6月15日以降の通常再開に向けての準備期間として登校するリズムにも慣れ体調管理に気を付けてスタートしていきたいと思っています。部活動も平日週2日、休日1日90分程度の活動が認められ、再開していきます。部顧問の指示に従って、部活動も慣らしてほしいと思えます。運動部の代替大会や文化部の大会開催の行方が分からない状況では目標を見定めにくいところではありますが、まずは集まれるところで集まっての活動をして、体力、気力を戻していきましょう。登校日以外の日の活動はできないことから登校日の部活動の進め方について顧問の先生方としっかり話をし15日以降の完全実施に向け準備していきましょう。よろしくお願ひします。

また、「加東市立小中学校では夏季休業が12日間に短縮」と新聞に掲載されていました。各自治体でその期間は違うようですが、本校では、7月31日1学期終業式、8月24日2学期始業式と夏季休業を13日間短くし、臨時休業による不足分を補うことになりました。1学期末考査を7月13日から17日まで、7月20日以降を午前中の短縮授業、8月24日2学期スタート後はその週を午前中授業とし、8月31日から通常授業の予定です。体育祭は年間計画表通りの実施を予定していますが、種目についてはその時の状況によって間隔の取り方やフォークダンスの実施が可能かなどあらゆる場面を想定した種目構成を今後検討していく予定です。2学期以降に予定している行事は現在のところは大きな変更の予定はありません。この週末はしっかりコンディションを整え、来週からの授業でよいスタートを切れるようにしていきましょう。よろしくお願ひします。